

第72回 近畿小学校長会協議会研究大会 滋賀大会 【誌上发表大会】

大会要項

1 当初予定日時 令和3年7月30日(金) 9:50~16:00

2 会場 びわ湖大津プリンスホテル

3 日程

| | | | | | | | |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9:15 | 9:50 | 10:30 | 10:55 | 11:00 | 12:20 | 13:15 | 16:00 |
| 受付 | 開会式 | 全体会 | 記念講演 | 昼食 | 分科会 | | |

4 主催 近畿小学校長会協議会 滋賀県小学校長会

5 後援 全国連合小学校長会

6 大会主題

(1) 主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

(2) 副主題

— 自ら進んで学び ともに深め合い いのち輝く豊かな未来を創造する子どもの育成 —

(3) 趣旨

我が国の社会は、少子高齢化の進行に伴う生産人口の減少、人間関係の希薄化、経済格差の拡大と固定化などの課題に直面し、人口知能(AI)の急速な開発は、人間が担うべき仕事のあり方を変えようとしている。また、昨年はじめから全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、世の中の有り様を一変させた。教育の分野においても、感染防止のための臨時休業、それに伴うカリキュラムの再編、学校再開後の「学校の新しい生活様式」の構築など、今まで誰も経験したことのない、先の予測が難しく何が正解か分からない中での学校経営を強いられている状況が続いている。この間、リモート授業の実施等に代表される地域の財政力による教育格差も大きな課題として浮き彫りとなった。

このような状況において、昨年度から新学習指導要領が全面実施となった。校長は、社会に開かれた教育課程、「主体的・対話的で深い学び」、カリキュラム・マネジメント、プログラミング的思考、持続可能な開発目標(SDGs)など、数多くのキーワードをしっかりと捉えながら、明確な経営ビジョンを掲げ、世代交代によって増加する若手教員の資質向上と教職員組織の活性化を図り、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善を着実に進めていかなければならない。これからの教育には、人間性豊かで持続可能な社会を築くため、子どもが課題を乗り越えるためのしなやかな知性と豊かな創造性など、新たな知を拓くための資質や能力を育てることが求められている。全国連合小学校長会ではこれまでの研究の基盤のうえに立ち、令和2年度から「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」という研究主題を設定した。

今回の開催地である滋賀は、母なる湖「琵琶湖」をその源とし、豊かな自然に恵まれ、環境教育については持続可能な社会の実現に向け先進的な取組が行われている。また、歴史的な文化遺産が数多く存在し、外国との文化交流も積極的に行われてきた。江戸時代に活躍した近江商人は全国的にも有名で、「三方よし」の精神は今でも学校教育に受け継がれている。国際化が一層進展し、変化の激しい社会を生きぬくためには、子どもたち一人ひとりの自尊感情の醸成を基盤として、自らが課題意識をもって学んでいく姿勢と、ともに学び、深め合い、未来につながる大切な「今」を前向きに、そしてたくましく切り拓いていくことが求められている。

そこで、本大会の副主題を「自ら進んで学び ともに深め合い いのち輝く豊かな未来を創造する子どもの育成」と設定した。本大会においては、ウイズコロナ・ポストコロナ時代の学校も視野に入れながら、校長が学校経営の責任者としての自らの使命を自覚し、「近畿はひとつ」という理念のもと、その研究成果が近畿各小学校の教育活動の充実と発展につながることを強く願う。そして、明日への一步を踏み出す、輝かしい研究大会となることを期待する。

7 分科会及び研究協議

| 分科会 | 主題 | 趣旨 | 協議題 | 提案府県 | 当初予定会場 |
|--------------------|------------------------------------|---|---|------|---------------------------------|
| 第1分科会 学校経営 | 学校・家庭・地域が互いに信頼し、高めあう学校づくりを進める学校経営 | 家庭・地域との連携のもと、生きる力を育むことを目指し、学校力を高める学校経営の在り方について考える。 | ア 家庭・地域との連携のもと、学校評価を有効に活用し、社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校経営 | 兵庫県 | 大津プリンスホテル プリンスホール |
| | | | イ 家庭・地域との連携のもと、「確かな学力」を身につけ、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる学校経営 | 大阪府 | |
| 第2分科会 現職教育 | 教師の専門性を高め、指導力向上を図る現職教育 | 今日的な教育課題の克服や達成を目指した指導力の向上を図る現職教育のあり方について考える。 | ア 学級経営、教科指導、生徒指導など実践的指導力の向上を図る現職教育 | 和歌山県 | 大津プリンスホテル コンベンションホール 9・10 |
| | | | イ 様々な教育課題に対応し、その克服や達成に向けた資質と能力の育成を目指す研修の充実 | 兵庫県 | |
| 第3分科会 人権教育 | 人権尊重に基づく実践力を育む人権教育 | 人権感覚を磨き、実践力を育む同和教育をはじめとする人権教育の在り方について考える。 | ア 同和教育をはじめとするあらゆる人権課題の解決に向けた実践力を育くむ人権教育 | 奈良県 | 大津プリンスホテル コンベンションホール 7・8 |
| | | | イ 一人一人が大切にされ、輝くための校内研修や啓発活動の充実を図る人権教育 | 滋賀県 | |
| 第4分科会 生徒指導 | 豊かな人間性とたくましく生きる力を育む生徒指導 | 自他の生命を尊重し、よさを認め合い、夢や希望を持って自己実現を図る生徒指導について考える。 | ア 自尊感情を高め、自他を生かそうとする好ましい人間関係の中で自己実現を図る生徒指導 | 大阪府 | 大津プリンスホテル コンベンションホール 5・6 |
| | | | イ 家庭、地域社会、関係機関、他校種との連携を基盤にした生徒指導 | 和歌山県 | |
| 第5分科会 特別支援教育 | 共生社会の実現、インクルーシブ教育システム構築を推進する特別支援教育 | 合理的配慮に基づき、一人一人の教育的ニーズに応え、豊かに生きる心と力を育む支援や学校体制の在り方について考える。 | ア 特別な支援を必要とする子どもへの個のニーズに応じた教育の推進 | 京都府 | 大津プリンスホテル コンベンションホール 2・3 |
| | | | イ 校内における特別支援教育体制の充実と家庭・地域・関係機関との連携の推進 | 奈良県 | |
| 第6分科会 教育環境・教育条件 | 新しい時代を拓き、主体的に生きる子どもを育む教育環境・教育条件 | 子どもたちの豊かな学びと育ちを願い、ポストコロナ時代の学校も視野に入れながら、学校・家庭・地域が共につくりあげる教育環境・教育条件について考える。 | ア 地域の自然や文化、歴史を愛し、豊かな人間性を身につけた子どもを育てる教育の推進 | 滋賀県 | 大津プリンスホテル コンベンションホール 1 |
| | | | イ 時代の変化に対応し、多様な人々と協働しながら、共に支え合う心豊かな子どもを育む学校づくりの推進 | 京都府 | |

8 大会参加費 資料代(大会要録代) 500円

※(当初予定の参加費) 大会参加費: 5,200円(資料代 4,000円・昼食代 1,200円)